

第 33 回 災害対策ワーキンググループ会議 議事録

日時：令和 2 年 7 月 30 日（木）20：00～

場所：ZOOM による Web 会議

出席：山根、齋藤、宮崎

欠席：大谷、岸和田

○関東臨床工学技士協議会災害伝達訓練について

①4 月の開催が COVID-19 騒動で延期

埼玉県より Web 会議の提案あり、7 月 16 日（木）20 時～予定。⇒訓練は 9 月 1 日（火）・2 日（水）となった

②災害訓練の案内について

同様に医務課と連名で案内を出す⇒メールで県へ依頼。返事待ち。2 週間前に県から案内を発送していただく。訓練 2 日前に FAX でお知らせ（QR コード入れてみる）。

③訓練の開始日

9 月 1 日（火）10 時～訓練。状況に応じて FAX で登録を促す。電話での登録依頼はやらない。

④訓練当日の担当者

受け入れ可能数の集計は宮崎氏が行い、チェックは齋藤氏が行う。山根は群馬県の窓口担当とする。催促の FAX やお知らせの FAX も担当していく。どこかに集まるのではなく、それぞれの勤務先等で対応する。必要があれば LINE を用いる。

⑤締め切の期限

17 時に締め切り集計をする。9 月 2 日の 9 時までには本部へ受け入れ情報を送信（予定表では 11 時迄となっている）。受け入れ要請は地域別に担当者を決めて、基本 FAX で行い、電話やメールは担当者の判断でおこなう。夜、Web で 20 時～21 時に意見交換・反省会。

○災害時の透析医療確保に関する広域連携会議について

第 3 回の開催について、9 月 15 日（火）を予定しているが COVID-19 の騒動もあり、延期が決定した。1 月 19 日（火）となった。おそらく Web 上の可能性高い、そうなれば多くの人が聴講可能か。今回は幹事県が群馬県医務課となっている。

○県主催の災害時透析医療対策マニュアル訓練について

例年だと11月上旬。通常8月頃に打合せだが、医務課の担当者へメールしてみる。太田地区のブロック代表の太田記念の松清医師が退職されており後任を決める必要がある。館林厚生の泌尿器科の先生が良いのではと植木医師より提案あり、猿木医師も同意しているため、その線で話しを進めていく。館林厚生病院の泌尿器の岡崎浩先生が良さそう。猿木医師に声をかけていただく。

○その他

①先日の熊本での技士会の動きについて

対応が良かった。我々も同様に態勢（フローチャート）を明確にしたい。【大雨特別警報が出たら県内透析施設へのネットワーク登録を呼びかけるとか、連絡の取れない施設には行ける人が出向くとか、もっと発展的な目標として JHAT 群馬版を作るとか。フローチャート案をもう少し具体的に手直しする。

②岸和田氏が最近欠席となっている

9月1日の訓練に参加できるか問い合わせしてみる。

③災害対策WGの名称の変更について

WGでなく活動実績から考えて委員会で良いのではないか？次回の理事会で提案。

④災害対策のメンバーについて

各地域に情報収集担当を置きたいので、各地区で数名任命したい。但しそのためには規程や目的、研修などの整備が必要。年内には完成させていきたい。

⑤県の災害協定について

どの程度協定を結んでいるのか医務課に問い合わせしてみる（透析患者の搬送用のバスの確保とかガソリンの優先給油とか）。災害時透析基幹施設（市から認定されている）というのが他県で時々見かける。県内でも存在するのか確認していきたい。

以上